

入 選

隣接地購入でガーデニングの舞台づくり

「憧れのお花畑の庭をつくりたい」

株式会社GARDEN四季 石川正彦様

入 選

親世帯、子世帯が隣り合う雑木中心の庭を持っておられるご家族でしたが、反対側隣接地の購入打診の話があり、かねてから趣の違うお花畑のような庭がほしいと思っていたご夫婦がこれを機に新しく作庭しようと思いい隣接地を購入し、その舞台設計の依頼事例です。

奥様自身も長い仕事中心の生活を終えようとしていた時であり、大好きなガーデニングとご主人が菜園をしてみたことのご要望で、この暮らし方は身体も動かし緑を楽しむことなので健康にもいいとの思いもありでした。

既にお持ちの庭も樹木で構成されていて、四季の移ろいを観賞できるすてきな庭ですが、季節の草花や野菜づくりを楽しむ「育てる庭」をテーマに設計させていただきました。

以前、北海道の旭川から富良野、十勝にかけてのガーデン旅で宿根草中心の庭を見たこともこの想いに拍車をかけたようです。

T様の作庭地敷地は約200㎡で全体の3/4をお花畑、1/4を菜園になるようにというご希望でした。住まいと並んで道路に面しているの、住まいの玄関側からと道路面の二カ所にエントランスを設け、パラーチを備えて周遊できる園路としています。

道路面は枕木調の花壇スタイルで、80cm程のスペースにヒペリカムを植える提案をしメッシュフェンスを設けて蔓性植物を植える構成にしました。

隣地境界は所々トリス調のスクリー

ンを配して、バラなどを絡ませる設計としました。

庭の奥にパーゴラ、浮遊感テラス、おしゃれな立水栓を配し、屋外ファニチャーを置きお茶を楽しめるスペースも設けています。このパーゴラにはクワイヤノウゼンカズラを這わせて適度な日除けも目的にしています。また、1mを超える草花があり、花が見事な時期には道路からの目隠しにもなり適度なプライバシーも確保できます。

雪国のため、冬場以外はお花畑や菜園で作業をすることが何よりも楽しみとなっており、忙しい時や夏の暑い日でも毎日1時間は外に出て庭の手入れをされています。新興住宅造成地のため、土質が悪く土づくりから始めていて、雑草や野菜のくずは捨てずに堆肥にして畑の土づくりに活かしています。

草花は宿根草中心ですが、二年草も所々に交え季節の変化を楽しんでいます。ほとんどの草花が種や苗から育てているので季節による光景の変化があり、道行く人が思わず立ち止まって眺めたり、声をかけられることもあり嬉しいことです。

近くの老人ホームの職員さんから入所者の散歩見学コースに入れてほしいとの要請もあり、お役に立つのならと快諾しています。

ご主人様の担当である野菜は自分達で育てたこともあり収穫も嬉しく、花や実をつけたり作業を楽しみ育つことで心が癒やされ、旬の野菜を食べること

で健康な身体づくりにつながっていると
思います。

時には失敗することもあります
がシーズンの区切りごとに来シーズンはこんな
挑戦もしてみたいと想いを巡らせている
そうです。

育てる庭として毎日手入れをされて
いるので、季節ごとに尋ねるのを楽しみ
に見学に行っています。



講評



専門講師
堀久恵

育てる庭というコンセプトのもと、ガーデンデザインを工夫された点が素晴らしいと思いました。「お客様がその後、庭とどう関わるか」をしっかりとデザインに取り込むことで、よりガーデンセラピーが身近に感じられますし、健康的な身体作りにもつながりますね。

また、花が見事な時には、道路からの目隠しにもなり、適度なプライバシーも確保にもなっていることですが、例えばそこにフェンスを立ててしまえば、自分たちだけのものになるところ、植物ならば、通行する方にも、季節のお花を見て楽しんでもらうことができます。植物は、関わる自分たちだけではなく、通りがかりの人をも幸せにすることを、こちらのご夫婦は日々体感されているでしょう。

ガーデンセラピー効果も満点！このお庭がコミュニケーションを生むツールとなって、多くの人の憩いとガーデンセラピーを体感していただける場にもなりそうですね。



4



3



5



7



6



8



10



9

1. 種から育てる
2. 草花
3. お茶を楽しむパーゴラ
4. 菜園とお花畑
5. 周遊できる園路
6. 憧れのお花畑の庭
7. 一年草
8. パーゴラのキウイ
9. 道路側からの園路
バラアーチ
10. ご主人の菜園